

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 心のバリアフリーの実現について</p> <p>【質問趣旨】 「ユニバーサルデザイン2020行動計画」には、基本的な考え方として、障害のある人もない人も支え手側と受け手側に分かれることなく共に支え合い、多様な個人の能力が発揮される活力ある社会としている。誰一人置き去りにしない、心のバリアフリーの実現を願い質問する。</p> <p>添付資料：「あいサポート運動」鳥取県</p>	<p>(1) ヘルプマーク・カード等について</p> <p>(2) あいサポート運動について</p> <p>(3) デジタル障害者手帳の導入について (ミライロID)</p>	<p>① ヘルプマーク・カードの理解促進について、どのような取り組みを行っているのか。現状と課題を伺う。</p> <p>② 教育現場でのヘルプマーク・カードの周知について、現状と課題を伺う。</p> <p>③ ヘルプマーク・カード啓発とともに、助けを求める方と手助けしたいと思っている方の意思疎通が図られるよう「逆ヘルプマーク」「サポートハートマーク」等、全国でも広がりつつある。どのような認識か。見解を伺う。</p> <p>① 資料にある「あいサポート運動」について、どのような認識か。見解を伺う。</p> <p>② 心のバリアフリー、地域共生社会を目指して、あいサポート運動を担うサポーターを養成するため、あいサポート運動の連携推進に関する協定を積極的に取り組んでいる鳥取県と結び、希望する市民や事業者・団体を対象に「あいサポーター研修」を実施し「あいサポート認定」等を推進してはどうか。見解を伺う。</p> <p>① デジタル化が進む中、障害者手帳の情報をアプリに取り込むことで、障害者手帳を掲示するより精神的負担も軽減され、紛失防止効果も期待でき、さらに、従来の障害者手帳と同様な割引や優待が期待できる。障害者割引時等の本人確認書類として、デジタル障害者手帳 (ミライロ ID) 導入してはどうか。見解を伺う。</p>

(1 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 帯状疱疹について</p> <p>【質問趣旨】 厚生労働省は2016年3月「50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防」として帯状疱疹ワクチンの効能効果を追記した。2020年には、従来の帯状疱疹ワクチンに加えて、不活化ワクチンが新たに使用開始となり、高額ではあるが、予防効果も高く、長期間効果が持続し、がんや膠原病などで免疫が低下している人でも接種できる。そこで、帯状疱疹やワクチン接種について、市民の健康を守るという観点から質問する。</p>	<p>(1) 帯状疱疹の現状と課題について</p> <p>(2) 帯状疱疹ワクチン接種費用の一部助成について</p>	<p>① 帯状疱疹の原因となるウイルスは、日本人成人の90%以上の方の体内に潜っていて、50歳を境に発症率は急激に上昇し、60歳代から80歳代でピークを迎え、80歳までに約3人に1人が帯状疱疹になると言われている。しかし、帯状疱疹予防にワクチンがあることを知らない人も多く、帯状疱疹の罹患者は増加傾向にある。こうした状況を踏まえ、市民の発症状況や接種状況についてどの程度把握しているのか。現状と課題を伺う。</p> <p>② 帯状疱疹や帯状疱疹ワクチン接種の周知啓発等の取り組みはされているのか。現状と課題を伺う。</p> <p>① 帯状疱疹ワクチン接種は、発症を完全に防ぐものではないが、発症しても軽症で済み、後遺症の予防につながるとされている。帯状疱疹ワクチンの接種費用は、生ワクチンで1回8000円程度、不活化ワクチンでは1回2万2000円程度と高額で、しかも2回接種しなければならない。愛知県内では、名古屋市が2020年3月から接種費用の一部助成を開始している。県内の自治体でも接種費用の一部助成が始まっている。そうした状況を踏まえ、市民からの問い合わせや一部助成の要望等の状況はどうか。</p> <p>② 市民の健康を守るという観点から、早急に、帯状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を始めていくべきと考えるがどうか。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。